



南条つ子

南条小学校だより

南条つ子は 進んで学ぶ子

R2.12.15 No.57

思いやりのある子

力いっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成



○ 2学期保護者会 (12/18 実施) 下校バス9:30

今週18日(金)、2学期の保護者会を行います。お忙しい中申し訳ありませんが、ご参加くださいますようお願いいたします。個人懇談では、担任よりお子様について、頑張ったこと、できるようになったこと、もう少し頑張ると良いなということなど、具体的に話があるかと思ひます。

良くなった点・頑張った点については、大いに誉めていただきたいと思ひます。自分がうれしいだけでなく、親も喜んでいいる(親を喜ばせた)ということでもさらに喜びが増すと思ひます。また、課題については、どの子も「今よりも良くなりたいたい・できるようになりたい」という気持ちをもっていますので、決して頭ごなしに叱ることなく、今後も頑張ろうと思えるような意欲を高める言葉かけをお願いします。

【連絡とお願い】

- ・申し訳ありませんが、今回も、授業参観は中止とさせていただきます。
- ・当日は、職員駐車場をご利用ください。校舎南側(南校舎と校庭の間)、校舎東側(校舎と堤防の間)に合計50台以上駐車できます。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用での来校および入校後の手指の消毒にご協力ください。個人面談時には、アクリルボードを立てさせていただきます。
- ・当日は低温が予想されます。(個人面談時には暖房が作動しているので大丈夫かと思ひますが、)待ち時間での寒さ対策をご準備ください。また、スリッパをご持参ください。

○ 今年の漢字 2020年 今年の漢字は、「密」

日本漢字能力検定協会が、12月12日の漢字の日に合わせて、「今年の世相を表す漢字一字」を公募・選定し、京都市の清水寺で発表しています。今年、12月14日に発表されました。1995年より始まっており、今回で26回目になります。



これまでに選ばれた漢字は、1995年震、1996年食、1997年倒、1998年毒、1999年末、2000年金(1回目)、2001年戦、2002年帰、2003年虎、2004年災(1回目)、2005年愛、2006年命、2007年偽、2008年変、2009年新、2010年暑、2011年絆、2012年金(2回目)、2013年輪、2014年税、2015年安、2016年金(3回目)、2017年北、2018年災(2回目)、2019年令でした。

残念ながら、これまで良い意味・印象をもつ漢字が、あまり選ばれていません。大きな事件や事故、自然災害などがあると、それらに関連した漢字が選ばれてしまいがちです。今年の「密」は、コロナ禍での生活で、「3密(密閉、密集、密接)」を避けることを意識した生活になったことから選ばれたのでしょう。みなさんにとって、今年はどうな漢字になるのでしょうか？

【校長のひとりごと】

ベネッセコーポレーションが、11月20日～23日に、小学生3～6年生の会員7661人(女子5170人、男子2491人)を対象に実施した意識調査「小学生が選ぶ！2020年 憧れの人物ランキング」の結果が、今月はじめに発表されました。

結果は以下の通りで、大ブームになっている『鬼滅の刃』の登場人物が、なんと7人も選ばれており、残りの3人は、お母さん、先生、お父さんでした。

1位	竈門炭治郎(鬼滅の刃)	618票	2位	お母さん	393票
3位	胡蝶しのぶ(鬼滅の刃)	315票	4位	先生	229票
5位	お父さん	171票	6位	富岡義勇(鬼滅の刃)	165票
7位	竈門禰豆子(鬼滅の刃)	163票	8位	煉獄杏寿郎(鬼滅の刃)	151票
9位	我妻善逸(鬼滅の刃)	150票	10位	時透無一郎(鬼滅の刃)	126票

1位に選ばれた竈門炭治郎については、ネット上でも絶賛されていました。目的を明確にして前向きに努力するところ、強い信念を持っているところ、偉い人にも怯まず正しい事を主張できるところ、困ってる人を助ける親切なところ、敵であっても他人の苦しみを理解しようとするところ、仲間の悪いところはサポートして良いところを活かせるチームワーク作りができることなど、本当に理想的な人物で、小学生以外でも憧れる存在でしょう。



さて、この結果で、少しホッとしたのは、『鬼滅の刃』の登場人物以外の3人です。その中でも、「先生」が4位に入っていて、本当に良かったです。本校のPTAだより(11月27日発行)の4・5ページに、1年生が「大きくなったらなりたいたいもの」が掲載されていますが、残念ながら「先生」と答えた児童は、一人もいませんでした。「憧れの人物」と「将来なりたいたいもの」は違うのかもしれませんが、教え子から「〇〇先生に憧れているから、将来は、〇〇先生のような先生になりたい」と言ってもらえると、教師をやっている本当に良かったと思ひます。

今回のベネッセのアンケート結果は、うれしいものでしたし、今後もずっと憧れの人物ランキングに入っている存在であってほしいです。

また、「今年の漢字ランキング」の結果は、次の通りでした。

1位	笑	284票	2位	幸	250票	3位	新	178票	4位	嬉	165票
5位	悲	164票	6位	友	161票	7位	苦	130票	8位	恋	123票
9位	心	117票	10位	鬼	97票						

1位の「笑」は、「コロナでも笑顔で頑張れた」「家族や友達といっぱい笑った」で、2位の「幸」は、「学校に行ける幸せを感じた」「家族と過ごす時間が幸せ」、3位の「新」は、「コロナで新しい生活になった」「新しい世界や楽しみを味わった」などが、選んだ理由だそうです。トップ3すべてがポジティブな理由でした。コロナで生活が大きく変化する中でも、それを新しい経験として、子どもたちなりに楽しみや幸せを見つけながら、家族や友達と充実した毎日を送っていたことが想像できます。残念ながら、今後の生活も急激に良くなるとは考えられませんが、せめて前向きな気持ちだけは無くさず持っていると思ひます。